

2021年1月25日

株式会社 山陰合同銀行

日南町有林J-クレジット売買契約調印式の開催について

～当行のJ-クレジット仲介支援4,000t-CO₂達成～

山陰合同銀行（頭取 山崎 徹）は、2019年5月に「サステナビリティ宣言」を表明し、改めて地域社会・お客様とともに持続可能な地域社会の実現を目指した経営を行っています。その取組みの一つとして、地域の環境保全を推進するため、J-クレジットを活用したカーボン・オフセットの仲介支援を行っています。

このたび当行の仲介により、2021年1月26日に日南町（町長 中村 英明）と株式会社ヒノコンサルタント（代表取締役 松本 義政）との間で、「日南町有林J-クレジット売買契約」を締結、同日調印式が行われることとなりましたのでお知らせします。

株式会社ヒノコンサルタントは、自然との共生に貢献する総合コンサルタント企業として地域の発展に長年貢献されてきました。また、鳥取県から「男女共同参画企業」認定も受け、ワークライフバランスを意識した職場づくりを進められ、労働環境整備にも熱心に取り組まれています。さらに、エコキャップ運動を通じて、世界の子供にワクチンを届ける取組も実施されており、様々な側面からSDGsの目標達成に資する経営に先進的に取り組んでおられます。今回の日南町有林J-クレジットの購入は3度目、累計で150t-CO₂となることから、日南町より感謝状も併せて贈呈されます。

当行では、2010年12月より「J-クレジット地域コーディネーター（※）」としてJ-クレジットを活用した地産地消型のカーボン・オフセットの提案および実施支援に取り組んでおり、SDGsの目標達成への貢献ならびにESG経営を実践しています。

このたびの売買契約の仲介をもって、当行が地域コーディネーターとして活動を開始して以降の仲介支援実績が、累計で85件、4,037t-CO₂（うち鳥取県内：63件、2,019t-CO₂）となりました。また、日南町有林J-クレジットの仲介支援実績は、日南町がSDGs未来都市に選定された2019年7月以降、鳥取県内の全仲介実績の4分の1強にあたる541t-CO₂となりました。SDGsや脱炭素社会の実現へ向けた大きな政策転換の中において、J-クレジットはその実現に向けた具体的貢献策として、これまで以上に多くのお取引先に認知されてきたものと考えております。

当行は、環境（E）を軸とした新たな潮流を適確に捉え、地域、行政、民間事業者の皆様とともに、J-クレジット等を通じたパートナーシップを活かした持続可能な地域の形成に貢献してまいります。

（※）当時の名称は「J-VER地域コーディネーター」

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



【調印式概要】

日 時： 2021年1月26日（火） 13時30分～14時00分

場 所： 日南町役場（鳥取県日南町霞800）

出席者： J-クレジット販売者

（敬称略） <日南町>

町長

中村 英明

J-クレジット購入者

<株式会社ヒノコンサルタント>

代表取締役

松本 義政

J-クレジット仲介者

<当 行>

米子東支店長

今井 信行

生山支店長

三嶋 秀己

内 容： 日南町有林J-クレジット売買契約調印式／感謝状贈呈式

以上

【J-クレジット売買仲介実績】

日南町有林J-クレジット売買仲介実績		
今回	1件	50t-CO2
合計	42件	1,234t-CO2

J-クレジット売買仲介実績 (含む他の自治体、民間事業者保有分)		
合計	85件	4,037t-CO2

(2021年1月26日現在)

